こんどはかえてみませんか

発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033～4
編集兼発行人 杉本一男
半年間 1,200円 送料共
振替口座番号
労金大牟田
0968946－005

公判お知らせ

11・9 三池大災害裁判公判 三月十一日午後一時から、福岡地方裁判所で。(48回)

9・28 坑内火災裁判公判 四月二十一日午後一時から、同右裁判所で。(41回)

汚れた県政から クリーン県政へ

福岡県知事選挙は三月十六日告示、四月十日投票で全国の注視を浴びて行われますが、亀井知事は汚職、腐敗、おごりを反省するどころか、地位を利用して目にあまる事前運動を展開しています。一方北九州市長選での前進をふくめ、革新統一、清潔、正義、県民本位の県政への願いをこめたたたかいは、ますますその展望を切り開きつつあります。

おくだ八二からのメッセージ

新しい知事公舎を豪華すぎるし、公私混同と批判した県民は監査請求をもとめた七十二万人にとどまらないと思います。この批判は当たっていると思うのですが、残念ながら監査結果は的はずれのものでした。腐敗は監査委員会にもおよんでいるとの「朝日新聞」の報道をみて本当に驚きました。県政の腐敗はとどまるところを知りません。何とか歯止めをかけなければならないと思います。そのために必要なことは、保守・革新の垣根をこえて県政をきれいにすることで県民が力を合わせることです。

幸いこの四月の知事選はチャンスであり、これを逃がしてはなりません。同じ人が十六年も県政を担当しますと、よほど立派な人でないかぎり、腐敗や停滞はさけられません。これは福岡県民の悲劇です。こんどの知事選では必ずそれを終らせ、清潔で、ぬくもりのある、公正な県政を打ちたてましょう。私もすでに九大を退官し、心ある県民のみなさんと行動をともにしており、全力をつくすつもりです。どうぞよろしく。

おくだ八二をはげます会

とき 三月一日(土)午後五時半
ところ 大牟田市民会館大ホール

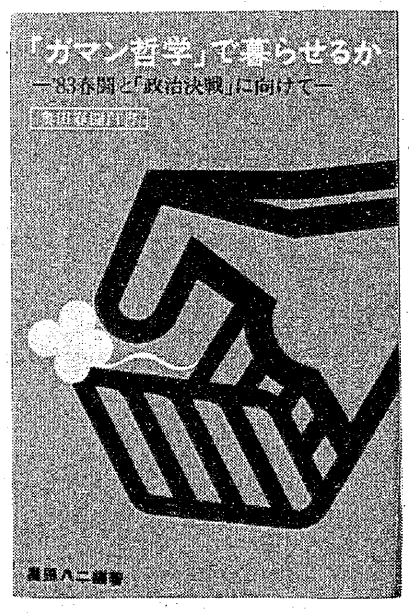
おくだ八二とともにあすの福岡県を語る集い

とき 二月十九日(土)午後二時
ところ 福岡国際ホール(福岡市中央区築港)
主催 清潔な県民本位の県政をつくる会

奥田春闘白書 「ガマン哲学」で暮らせるか

「いま私は、福岡県政浄化という県民の心からの願いを背負って、まさに『八三政治決戦』の真っただ中にいます。今回はその陣中でまとめました。ご精読と連帯をお願いします」

今年も奥田白書が出ました。内容は、①「賃金凍結時代」来たる。②息切れする国民生活。③地方自治が遠くなる。④日本経済の進路を変えよう。⑤自衛隊が暴走し始める時。⑥労働組合の原点からの出直し。⑦「八三政治決戦」の意味。などで頒価五百円、組合へ。



おくだ八二の人柄 ②

奥田さんとは、久留米の九州大学分校時代から福岡に移って、引続き三十年近くも同僚として共に仕事をした間柄なので、私は彼を最もよく知っている者の一人だと自認し、また彼を敬愛しております。

奥田さんは社会的にも学内でも実によく活動しました。若い頃は労働運動のブレーンであったようでした。しかし、学内紛争当時の九州大学学生部長の奥田さんは、学長の懐刀として、紛争の鎮静化に精力を傾け、その力量が買われたのか、その後教養部長を三期も勤めさせられました。現在は社会思想史の学者らしく、中央の政界にかなりの影響力を持っていることは知る人のみが知っています。

第三者の目には、時に君子豹変と映ったかも知れませんが、それは奥田さんが自分の現在の立場というものをきわめて重視することを知らないからです。彼が県知事に選ばれたら、一党一派に偏することなく、県民の最大多数の意思に従って事を処理するに違いありません。頭は至って柔軟であり、足がいつも現実を踏まえています。企画性に富み、勇気があり、おそろしく実行力のある人というのが、私の描く奥田先生像であります。

かつて奥田さんと二人で大阪大学を視察に行った際、新幹線の列車が兵庫県の相生駅を通過するとき、自分はこの土地の生まれで、中学時代は六甲おろしの寒風の中を自転車で通学したものだと、少年の頃の耐乏生活の述懐をしました。だから六十歳を出た今日でも、冬のさ中にワイシャツの下はランニング一枚だそうです。小軀軽量ながら強じんな体の持主であります。

ある時、九州大学本部で会議が長引いて、夜遅く帰路についたとき、教養部長と評議員の私は、待たせてあった教養部長の公用車に乗り込みました。そこへ学生部長の奥田さんがやってきて、自分も同乗させてくれといいました。教養部長が「あなたには自分の公用車があるではないか」と申しますと、「私の運転手は時間内に帰した。これが国の節約というものだよ」とさっさと乗り込んできたのは、おかしくもあったが、なるほど「考える人」だとその時感服いたしました。奥田さんはわれわれの税金を節約して有効に使ってくれる人だと信じます。

企画性に富み 実行力のある人

九州大学名誉教授
西南大学教授 西原忠毅

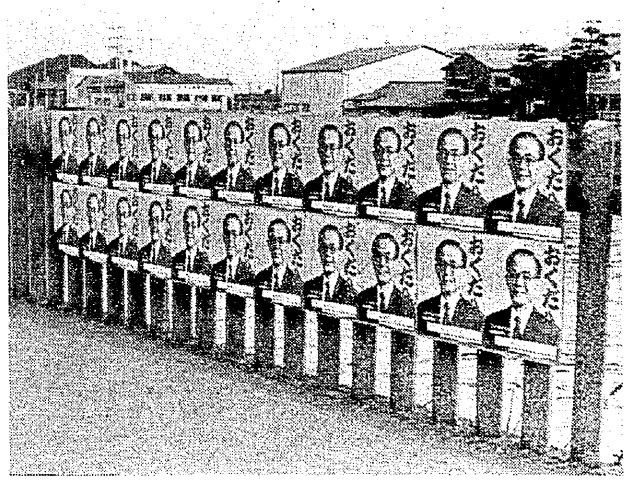
＊ ＊

モーレツ〝企業ぐるみ〟選挙

自民党と現職市長の推す候補が出たことで、熊本県議選は波乱模様となっていますが、このところ三井石炭はじめ関連企業は〝企業ぐるみ〟選挙一色です。

坑内の第一線はともかく、本社も各鉱も職制は不在、出勤扱いで選挙活動にかり出されています。もちろん新労も職組も一体ですが、時間内いっぱい組から午前・午後、また時間外や公休日も家族を含めて動員されています。

企業によって半強制的に行われるこのような選挙活動は、個人の自由意志をふみにじるもので明らかに人権の侵害です。



三川鉱の裏門、諏訪川沿いにずらりと「おくだ八二とあすの福岡県を語る集い」のアピール。

地底

▼…雲仙の「霧氷だより」がとどく。このところ寒気は強いが、ついに雪なしで終るか。ウメ、スイセンにつづき、ツバキ、ネコヤナギも開花。県境の〝にしばるさん〟から〝ごくんぞさん〟の祭りも終わりやがて春一番を迎える。

▼…ホテル・ニュージャパンの火災、日航機墜落事故から一年。いずれも人命軽視のそしりは免れないが、炭鉱では昨年二十四人の犠牲者、そして空知で今年初の災害。二社の類似点は悪質な組合破壊にあったが、労働者の人権を無視するような会社の方針は、やがてはその企業の性格をも歪めてしまうという事例。

▼…さきの北九市長選でも企業選挙が話題に。企業が保守を基盤として「運命共同体」を労働者に強制するのはどう見ても基本的人権の侵害であり憲法違反だ。「企業主義イデオロギー」の押しつけをやめ、自由な選挙を保障することこそ義務のはず。湯水のように選挙に使う金があれば、諸要求にまともにこたえたらいかがか。

▼…五十年前の二月二十七日、ドイツの国会議事堂が放火で焼け落ち、ナチスはこれを口実にドイツ共産党を非合法化。ナチスの陰謀だったが、事件以後すべての政党が解散させられ、ヒトラーの独裁政権下でヨーロッパは地獄へ。この事件の一週間前、東京築地警察署で作家・小林多喜二が虐殺されている。

▼…悪名高い〝建国記念日〟も十七回目。この間に教科書に「神話」が復活。とうとう、〝憲法改正〟を公言してはばからぬ首相が登場。もしこの日に即位したという神武天皇の霊がいるとしたらまさに笑いが止まらぬ〝最良の日〟。〝紀元節〟がうたわれ、日の丸と黒服がかっ歩するとき、この〝記念日〟の正体が見えてくる。